

会議の概要

令和３年度 第３回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

- 兼
- | | |
|----------------|----------------|
| ○ 大山幼稚園学校運営協議会 | ○ 玉井幼稚園学校運営協議会 |
| ○ 大山小学校学校運営協議会 | ○ 玉井小学校学校運営協議会 |
| ○ 大玉中学校学校運営協議会 | |

日 時：令和３年７月６日（火）１８：３０～２０：３０

場 所：改善センター 全体会：多目的ホール（１階）

【おおたま・オータム・フェスタ分科会】

- ①スポーツ交流イベント部 … 多目的ホール
- ②昔遊び・グラウンドゴルフ部 … 多目的ホール
- ③大名倉山登山部 … 農事相談室
- ④安達太良ふれあい登山部 … 農事研修室
- ⑤オリエンテーリング部 … 健康相談室
- ⑥ミニ運動会部 … 視聴覚室

【学校・園別分科会】

- 大山幼稚園 … 多目的ホール
- 大玉中 … 健康相談室
- 玉井幼小 … 農事研修室
- 大山小 … 農事相談室

（進行 指導主事 斎藤一範）

１ 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

みなさん、こんばんは。これより令和３年度第３回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下ＣＳ委員会と略記）を始めます。よろしくお願いします。

２ おおたま学園ＣＳ委員会会長あいさつ （おおたま学園ＣＳ委員会会長 伊藤 和弥）

みなさん、お晩でございます。本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

本日は、２部構成で、前半は担当の先生方を交えて「おおたま・オータム・フェスタ」について話し合うことになっている。私たちＣＳ委員会もＣＳ委員という立場で参加させていただき、地域と学校がよりよい関係で改善されることを期待しながら会議を持たせていただきたい。

後半は、難しいテーマではあるが、ざっくばらんに意見を出していただき、課題解決のために努力したい。時間に余裕はないが、楽しみながら話し合いをしていただければと思う。

本日もよろしくお願いします。

３ 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎）

- 改めまして、お晩でございます。今日はおおたま・オータム・フェスタの打合せということで、各部の役員の先生方にも出席いただきありがとうございます。ＣＳ委員と先生方で話し合うのが今回が最後なので、しっかりとできるようお願いします。
- 皆様のお力添えをいただき、１学期も間もなく無事終了することに心より感謝したい。新型コロナウイルス感染症については、現在のところ下げ止まりになっているが、今後どのようにしていくのか心配である。
- 今日２つの資料を用意させていただいた。一つ目は、６月３０日に実施された県中域内（郡山・岩瀬・田村・石川地区）地域連携担当教職員研修会での本村の発表資料である。２年前から各校の校務分掌に“地域連携担当教職員”が位置付けられたが、各校でその趣旨が十分に浸透していない

こともあって研修会が開かれている。玉井小学校の尾形先生と学校支援ＣＮの笹山さんが事例発表を行った。細かなことについて話す時間はないが、去年の玉井小と大山小の事例が載っている。詳しくは資料をご覧ください。

- 発表資料３２ページに大山小学校の実施成果がまとめられているが、その中に協力・後援団体として、「村内企業７社、地域学校協働本部、ＣＳ委員会」と記されている。また、二つ目の資料『県北の家庭教育応援企業通信』には、様々な企業が家庭や学校を応援する活動、協働する活動等に取り組んでおり、その実践例が掲載されている。大玉村の活動は年々充実しているのだが、課題としては「企業とどう連携していくか」があげられる。子どもたちが地域に出て、地域で学ぶのだが、応援企業が増えてくればもっと充実した活動ができるのではないかと考える。協議終了後、担当の田辺係長から説明がある。
- これまで、「ＣＳと地域学校協働活動の関係は自転車の前輪と後輪のような関係である」と何度も話してきました。そういことも踏まえながら、今日の話し合いを有意義なものにさせていただきよう願っていて、挨拶とさせていただきます。

４ 諸連絡 本日の日程・内容について

本日は大きく分けて以下の２点について協議を進める。

- (１) おおたま・オータム・フェスタについて（各部に分かれて）

- ・バス運行表の確認
- ・実施案の検討
- ・コロナ対策の視点等について
- ・村内関係団体への依頼事項（協力内容・人数）
- ・今後の日程
- ・保護者ボランティアの募集について

※ 雨天の場合は１０月３日（日）に延期。３日（日）も実施不可能の場合は中止。

実施可否の判断は前日正午に行う。（教育委員会と校長で）

- ・終了後全体共有を行う。（再び多目的ホールに集合して、全体で確認すべき点の確認）

- (２) 学校・幼稚園毎の意見交流（小グループによる熟議）

- ・テーマ「保護者・地域住民の教育活動への協働・参画を増やすためには」
- ・全体共有（各グループ３分程度）
- ・全体での意見交流

５ 協議

（座長 おおたま学園ＣＳ委員会会長）

- (１) おおたま・オータム・フェスタについて（各部に分かれて６グループで）



① 全体共有

(座 長) それでは、各部会で話し合われたことの発表をお願いしたい。コロナ対策の視点についてもお話しいただきたい。

① スポーツ交流イベント部 (部長：玉井幼稚園副園長 後藤弥和子)

- 10月15日(金) 9:30～11:15 改善センターグラウンドで実施(雨天：屋内運動場)
- 前半(9:30～10:15)年中組、後半(10:30～11:15)年長組と密を避けるため、学年毎に時間差で行う。(入れ替え制。協力団体も前半チーム、後半チームに分かれていただく。)
- スクールバス4台 ピストン(大山幼稚園)
- 種目について
365歩のマーチ、しっぽとりまたはドッジボール(園児のみの活動)、玉入れ・シールじゃんけん(協力団体参加)

② 昔遊び・グラウンドゴルフ部 (部長：玉井小学校 尾形 陽介)

- ボランティアに婦人会、保護者を加える。
- 開会式、閉会式を体育館ではなく村民グラウンドで行う。挨拶や講評を減らし短縮する。
- 午前中に終了し、昼食は帰校後にする。
- 昔遊びは14種類で進めていくことになった。ただし、今後できるだけコロナ対応ができるよう、道具の数等を確認しながら、より子どもたちが安全に参加できるよう修正を図りたい。
- 消毒液を準備し、手指消毒をこまめに行うようにする。

③ 大名倉山登山部 (部長：大山小学校長 舘脇 一弘)

- いっぺんにでなく、間隔をおいてぱらっとして登るようにする。
- 昼食の際は、前後の手指消毒を行う。飛沫対策をする。8月3日に下見をし現場を確認する。
- 夏休み明けであるので、感染状況が変わっていることも考えられる。子どもたち、保護者、ボランティアに安心していただけるようガイドライン(例 ステージ2ではこんな対策をして実施、ステージ3なら延期又は中止する…等)を事前に出すようにすればいいという話し合いがもたれた。

④ 安達太良ふれあい登山部 (副部長：CS委員 佐原 弘美)

- 8月4日に下見を行う。
- 感染対策
 - ・ 発熱や体調が優れない場合は登山を休ませる。事前・事中・事後の健康観察の徹底。
 - ・ バスやゴンドラ内はマスク着用
 - ・ 登山中はマスクを外させるが、子どもたちに大声を出さないよう、密にならないよう指導する。

⑤ オリエンテーリング部 (部長：大玉中学校教頭 早川 貢)

- 昼食について
 - ・ 晴天時については外で昼食をとる。
(ゴールした順に)
 - ・ 雨天時は、人数の関係で借りている場所(森林学習館)が密になってしまうので検討が必要である。
 - 現地では食わず、小学生についてはバスで帰校してから食べるようにする。
 - 中学生は、小学生が帰校した後に場所が広く取れるので現地で食



べることも可能である。

- 7月28日に下見を行う。手洗い場の確認等を行う。
- 前回の反省を生かして、子どもたちが主役の競技が進められるよう案を練る。

⑥ ミニ運動会部

(部長：大玉中学校 八巻 恵奈)

- 実施案 … 前回より時間を短縮する。競技は午前中4種目とする。
- 更なる感染対策のために
 - ・ 軍手をして競技に参加する。(ルールを決めて行う)
 - ・ 昼食をとる予定だったが、黙食ということで本来の目的である交流は図れないので、バスの関係が大丈夫であるならば、学校に戻ってから昼食をとるよう変更する。
 - ・ 競技を4つから3つに減らすことも検討する。

② 意見の交流

(座 長) それでは質問や意見があれば出していただきたい。共有したいことや疑問点などあればお願いしたい。

<健康チェックについて>

(座 長) (スポーツ交流イベント部へ) コロナ対策のために、前もってボランティアに用紙に記入してもらおうという話だった。通常、学校・園に来ているボランティアが書いている用紙(体調チェックシート)があるということだが…。

(後藤副園長) 学校支援ボランティアが使用しているものは、体温を記入し具合の悪いところがあるかどうかをチェックするものである。事前に配布し当日集約するようにしたい。

(座 長) 共通したものを使用できれば管理しやすい。他の活動でもどうか。参加人数が多い「昔遊び・グラウンドゴルフ」ではどうだろうか。

(尾形教諭) 通常簡単にチェックし実施しているので、オータム・フェスタでも同じように出してもらえと管理しやすいと思われる。

(座 長) 同じ様式のシートで、全活動の参加者(協力団体、ボランティア等)の健康チェックを行うようにしていく。前もって準備しておき、各団体に配付するようにしてほしい。検討をお願いしたい。次回の会議で再度確認する。



<ガイドラインについて>

(座 長) 先ほどガイドライン作成について意見があったが、それについてはどうか。

(斎藤指導主事) 感染状況については読めないところがある。直前になって急増することも考えられる。村や近隣市町村の状況に応じて判断していくようにする。

(教育長) 大事なことであるので、学校のガイドラインに準じて目安としての統一したガイドラインを作成するようにする。

(座 長) 次の会議でご提案いただきたい。また、天候についてはどうなるのだろうか。そのあたりのガイドラインも作ってほしい。

(今野CS委員) このような行事は何とかして実施したいという気持ちもあるのだが、状況によっては中止せざるを得ない場合も出てくると思う。その判断はいつになるのか。直前ということもあると捉えてよいのか。

(座 長) 場所によっても天候が違うと思う。判断についてお聞きしたい。

(斎藤指導主事) 天候も含め、コロナ対策についてはガイドラインを作る。ガイドラインの中に「〇〇まで判断する」とかの内容を入れるよう検討したい。

(座 長) 次回話し合いが持たれるということなので、その時までには内容を整理しておいていただきたい。

(斎藤指導主事) 雨天時の判断については、前日の正午に教育委員会と校長が集まって行うことになる。

(座 長) 場所によつての判断は直前になるということか。

(教育長) 一番心配な活動(安達太良登山)を基準に考える。全ての活動を延期(中止)することである。

(座 長) 他に質問や意見はないか。・・・・・・ 以上で意見交流を終了する。

(斎藤指導主事) 後半の協議について説明する。まず、本日のCS委員の参加状況を踏まえ、玉井幼稚園と玉井小学校は一緒に、他はそれぞれで熟議を進めていただきたい。熟議のテーマは大きな内容ではあるが、今あるものを統合して新しいものを作る(例えば、昨年度の大山小での運動会と学習発表会を統合した“Vamos Ohyama Deportes”等)とか、今幼・小・中でやっている行事に保護者や地域住民にどんなふうに参加していただくか等、どんな方法があるのかを探っていただきたい。

ここで前半の協議は終了となります。先生方にはお忙しいところご出席いただきありがとうございました。

～ 休憩・移動(各会場へ) ～

(2) 学校・幼稚園毎の意見交流

テーマ「保護者・地域住民の教育活動への協働・参画を増やすためには」



① 全体共有

(座 長) 各分科会で話し合われたことの発表をお願いしたい。(大玉中から)

ア 大玉中学校

(大玉中学校長 安田 浩明)

- 学校にどんなふうに関わっていいか、地域の人がかかるようにするために情報発信をもっとしなければならない。

- （学校で求める人材、求めるボランティアの専門性が分かるような）学校支援ボランティアの一覧表があるとよい。
- 教育活動においてもっと地域とつながるようにする。授業に地域の人材に入っていただくような視点が必要ではないか。年間、各教科で地域の方に入っていただくような取り組みを考えていったらいいのではないか。
- 「ふるさと教育～地域のことをもっと知ること」も教員として大切である。地域を知ることによって、「こういう人材がいるから、学校にもっと入っていただく」というようにつながっていくのではないか。

イ 大山小学校

（大山小学校長 舘脇 一弘）

- ボランティアが学校に来やすいように、学校の敷居を下げるために、やることを具体的にお知らせする。具体的な協力をお願いをすると安心して協力いただけるのではないか。
→例 ・読み聞かせを〇時から〇時の間にお願いします。
・見守りが〇人足りないから、〇時から〇時の間に立っていてください。
・家庭科の授業でミシンを使うので糸の通し方を教えていただきたい。（〇時から〇時まで〇〇の場所というふうに）
- 学校支援ボランティア登録表について…支援内容の項目が示されているが、それに当てはまらない感じがして、私にはできないのかなあと諦めてしまうこともあるようだ。そうならないよう項目の工夫も必要である。

ウ 大山幼稚園

（ＣＳ委員 今野 裕三）

- 幼稚園の現状について副園長先生からお話しいただき実情を知ることができた。現状においては、保護者や地域住民に様々な場面で協力をいただけるような環境になっているので、十分ではないかという思いを持っており、少し安心して聞くことができた。
- コロナ禍であるので、やはり無理がないようにしたい。これからも行事や教育活動において協力を得られる部分については、保護者や地域住民に力を貸していただくようにしたい。

エ 玉井幼稚園・小学校

（ＣＳ副会長 矢吹 吉信）

- 保護者、地域住民が参画するということについては、今きっかけがなかなかなくなっているのが難しい。コロナ禍ではあるのだが、参観日に各学年の総合の時間等で「働くこと」とか「地域のことを調べたりまとめて発表したりする学習」を公開することがある。やはりお母さん方の参加が多く、お父さん方の参加が少ないように感じる。父親の出番を増やすために、授業に参加し何かをやってもらおうとおもしろいのではないか。
- 幼稚園の副園長先生から、大山幼稚園の畑の土は良かったのだが玉井幼稚園の土が悪いという話を聞いた。秋口にさつまいもの収穫が終わったら、ボランティアのお父さん方を集めて、来年の作付けに向けて土壌改良に取り組みたい。
- コロナ禍ではあるが、このようなきっかけを作ってつなげていければいい。

② 意見の交流

（座 長）各グループから発表いただいた。それを踏まえて全体で確認したいことがあればお願いしたい。

コロナ禍ということもあって、地域住民と協働して活動することが難しい状況ではあるのだが、当然ながら今回のオータム・フェスタはその機会の一つになるし、それ以外についても各学校での総合学習、学習発表会等を何かしらのきっかけとして、協力する方がたくさん出てくるのではないだろうか。幼稚園３年間、小学校６年間、中学校３年間という長いつき合いを生かして欲しいと思う。

これで全体の協議を終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。

6 その他

(1) 地域学校協働活動～『県北の家庭教育応援企業通信』より～

(生涯学習課社会教育係長 田辺 将裕)

- 昨年度の大山小の“Vamos Ohyama Deportes”(運動会+学習発表会)では、その実現のために村内の多くの企業、地域の方々のご協力をいただき、子どもたちの笑顔につながることができた。
- 県北域内(福島市、川俣町、伊達市、桑折町、国見町、二本松市、大玉村、本宮市)では190社が家庭教育応援企業として登録している。(大玉村は5社)
(主な活動)・従業員が学校行事、授業参観、学年行事等に参加しやすくなる。
・企業内学習会(家庭教育)の実施、従業員が働きやすい環境整備等
- 地域学校協働活動への協力(子どもたちの健全育成のため)
(事例)・ベルグ株式会社(川俣町羽田)
学校に苗や土を提供(農業の学びの推進)、工場見学や体験活動への協力
・川俣町農業振興公社
子どもたちが考案した「川俣シャモの親子オムライス」を商品化し、道の駅のメニューとして提供した。
- 本村の地域学校協働活動でも取り組んでいく。(企業と学校の連携活動)
家庭教育登録企業を増やしていきたいと考えている。今後ともご協力をお願いしたい。

(2) 次回のCS委員会

9月3日(金)大玉中学校オープンスクール・学校運営協議会 13:35～17:55

7 閉会のことば

(おおたま学園CS委員会副会長 館下 愛理)

皆さん、長い間お疲れさまでした。これで第3回おおたま学園CS委員会を終わります。ありがとうございました。